

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年6月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300732
法人名	有限会社 祓川養魚場
事業所名	グループホーム 湧水の里
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町5250番地8 (電話) 0994-43-2514
自己評価作成日	令和3年4月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年5月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・すぐ近くの山では野鳥のさえずりが聞こえ、すぐ近くの池では鯉が泳いでいる湧水の里、豊富な自然に囲まれゆっくりとした時間が流れる中を利用者の皆様は、大好きな散歩を楽しんでいらっしやいます。春は桜に藤の花、秋は黄金色のたんぼなど、季節を目と肌で感じながら時には外で昼食会を楽しんでいます。ホームでは毎週1回の訪問看護もあり、利用者の皆様の状態を報告したり、掛かりつけ病院の先生による定期受診にて体調管理に努めています。どこにでもあるような暮らし「皆で夏野菜を植えよう」「みどりのカーテンを育てよう」「ひまわり喫茶でホットケーキを焼こう」と楽しんでいます。ご家族の来居もあり賑やかで何かと楽しい我が家です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は、広い敷地内に同法人のデイサービスセンターや有料老人ホームと隣接しており、法人内の職員の協力体制が築かれている。現在はコロナ禍のため、法人内のイベントや利用者の交流が困難な状況であり、各事業所単独の運営を行っている。

・自治会に加入しているが、コロナ禍のため地域行事参加等の地域との交流は困難な状況である。その中で、運営推進会議の委員でもある消防職員から、大雨の際の見回りや地域の情報・避難についての助言等を受けて防災に活かしている。

・管理者・職員は、利用者のこれまでの生活や馴染みの関係が継続ができるよう、かかりつけ医の継続や家族へのこまめな報告、利用者の得意な保存食作り、入居前の自宅近くへのドライブと友人との交流等に取り組んでいる。

・管理者は、全職員の力を出し合ってより良い事業所作りができるように取組み、職場環境作りに努め、職員のレベルアップを図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「明るく豊かな人と人とのふれあい」「毎日を笑顔で過ごしましょう」「地域と共に」の理念の下、日々の生活の中でホーム周辺の散歩に出かけ畑で働いている方と挨拶は出来ています。毎日笑顔で挨拶から1日はスタートしています。	当初からの理念を地域密着型サービスの意義を踏まえた理念に見直し、ホールに掲示している。毎朝唱和し、理念の確認と理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入れていただき町内会の清掃作業着時はホーム周辺の清掃作業を行っている。町内会に入れていただき今年はコロナ禍で中止になったが町内会行事の祓川棒踊りも湧水の里での披露もある。	町内会に加入し、コロナ禍で清掃活動のみ参加し、法人イベントも自粛している。地域との交流は困難な状況である。大雨の際は消防団の見まわりがあり、地域の状況や避難についての情報・助言を受けている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	4月に計画していた家族会はコロナ禍で出来なかったが年間行事計画や日常を湧水便りにて毎月郵送行っています。見学に来られる方にはグループホームについて詳しく説明して地域の皆様との関係を大事にしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長・消防分団長・家族の代表の方々の意見を頂き行事計画を立てたり、湧水便りを見ながら活動報告を行っている。地域の皆様に助けられながら消防訓練もできている。良い報告が出来ている。	運営推進会議は2回開催し、事業所の状況報告と意見交換を実施している。コロナ禍で、書類のみを4回、市に提出している。行政からの感染症対策や消防団からの防災対策の情報・助言をサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村との連携を密にとり新型コロナに関する注意喚起にて手洗いや消毒の仕方、防護服の着脱の仕方等全員で取り組んだ。同じく高齢者虐待や熱中症等の資料もあり内部研修行っている。	市の担当者とは、運営推進会議来訪時や出向いての報告・相談等で連携を図っている。防護服着脱やコロナ感染症に関する市のリモート研修に参加し、情報収集に取り組んでいる。生活保護担当とは報告や相談をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については定期的な勉強会を行っていて、身体拘束による弊害についても職員が理解している。鍵を掛けない工夫もし玄関を開けてホーム周辺の散歩に出かけたりしている。	身体拘束廃止委員会を毎月開催し、研修を年4回、指針を基に言葉遣いや声かけに配慮し実施している。優しい言葉遣いや声掛けに努め、馴れ馴れしくならないように気をつけている。日中は玄関の施錠はせず、外出しそうな場合は職員が同行し、安全で行動制限の無い生活支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	開かれたグループホーム作りに努めご家族の来居も多い。高齢者虐待防止についても定期的に勉強会を繰り返し理解をさらに深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員に成年後見人をしていた者がおり必要があれば活用できるよう支援できる。権利擁護に関するホーム内の研修会にも参加スタッフ全員で勉強を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用契約時の説明は丁寧に行っている。不安や疑問点には分かりやすく十分な説明に努め、理解納得を得られてから契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の来居時には何でも話して頂けるよう声掛け行い対話の場を設けている。ホーム内では常に声掛けながら気付いたことを話し合いより質の高いサービスに努めている。</p>	<p>利用者には、日常の関わりの中で希望を聞き、家族には、電話や面会時に要望等を聞いている。外出に関する要望には、毎日散歩していることやドライブにも出かけていることを伝えると共に、ホーム便りでも報告している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の職員会議で職員の意見を聞く場を設けており、皆で意見を出し合ってより良いグループホーム作りに結びついている。</p>	<p>毎月の職員会議に施設長も参加して開催し意見を聞く機会を設けている。職員の提案で利用者の得意な保存食作りに取り組む等、個々の力量に応じ、生活を楽しんでもらえるホーム作りに反映させている。個別相談は管理者等が受け対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>18名満床にていいグループホーム作りが出来る事はスタッフも理解している。今年はコロナ禍で食事会は出来なかったが施設長より弁当の差し入れがあり皆で協力しながら頑張れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の外部研修参加計画を作り研修に参加している。今年はコロナ禍で外部研修はオンラインにて全員参加した。またホーム内研修では毎月勉強したことをレポートにまとめて提出している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ネットワーク作りを行い地域の同業者と交流を行っている。毎月の勉強会でそこでの情報も取り入れてサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ホーム内外の環境に慣れて頂くよう散歩をしながら本人の思い、困りごと、不安等に耳を傾けている。個人差はあるが住めば都で皆さん笑顔で生活されている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>オープンなグループホーム作りに努め来居も多い。最初は不安も強いと思うので電話で現況をお伝えしたり、何でも話していただけるよう声掛けしながら要望等話していただいている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>その時の本人にとって何が一番かを話し合いながらご家族、病院関係者の意見も頂いて本人ご家族にとっていい方法を考えている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>毎日の食事を摂る時間を大事にしたり、ラジオ体操や散歩、洗濯物干し畳み、料理の下準備、お茶の準備と声掛けしながら一緒に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来居も多いが今年はコロナ過で面会がなかなかできないのでホーム内にて電話で話をしてもらったり、又病院受診に一緒に出かけたり協力を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が生まれ育った地域までドライブに出かけ、たまたま知り合いの方と出会い車越しに挨拶をしたりされた。見慣れた景色で表情も良かった。	家族との面会や電話・手紙・年賀状や暑中見舞い状、ホーム便りで近況報告をしたり、馴染みの場所へのドライブやかかりつけ医への受診に出かけ、馴染みの関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しく会話する場を確保し馴染みの関係がそれぞれに深まっていくよう努めている。和室では洗濯物をたたんだり、テレビで大相撲観戦したり歌番組を一緒に見ながら思いのままに過ごされている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とすご家族、利用者の方々と連絡をとりあい、付き合いを大事にしている。退去されたご家族が現況を話して下さることも事もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族の面会時には生活の意向本人の思いも伺いながらサービスにつなげ、今の本人にとって必要なサービスを本人ご家族スタッフ間で話し合っている。	散歩時やホールでくつろいでいる時などの日常の会話の中で、食べ物のこと等の思いを把握している。意見の表出が困難な場合は、家族からの情報を参考に思いを汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、本人・ご家族も交えてこれまでの暮らしぶりを伺っている。一人一人のおおかたの生活暦は職員全員把握して本人の思いに寄り添っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の血圧、体温、食事量水分量の記録もとり体調管理に努めている。ラジオ体操で体を動かされてからご家族の希望の多いホーム周辺の散歩に出かけている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の方々やご家族に生活の意向や、満足度を伺いながら毎月のケア会議にて話し合いをしている。ホームで落ち着いて生活できるよう本人の思いに応えていくプラン作りに努めている。	本人や家族の意見を聞き、担当者会議において検討し、介護計画を作成している。モニタリングは、毎月のケア会議で出された職員の意見を3ヶ月毎に取りまとめている。6ヶ月毎及び状況変化時に見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録では皆が見て分かりやすい記録をとり個別にファイルしている。朝・夕の引継ぎにて情報を共有し、より良いサービスに結びつくよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍で面会が難しい時ホーム内で内線にて玄関と居間にてお話をされている。又マスクをして玄関越しに面会をしていたり写真をとったりされている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・町内会長・消防団等の協力の下、様々な行事計画を立て、それに参加している。今年は避難訓練の協力もあり、全員参加で頑張れた。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	全員、かかりつけ医があり定期受診を行っている。病院受診は入所する前から引き続きの受診をさせてもらっているご家族の協力も得られて適切な医療が受けられている。	かかりつけ医は、契約時に確認し、継続受診を支援している。月2回の訪問診療を受けている。受診は職員が対応し、他科受診には家族も同行することがある。週1回の訪問看護による健康チェックも実施している。結果は家族に報告している。緊急時は、救急車で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護利用時は、利用者の方々の今の状態を丁寧に説明を行っている（検温者や皆さんの食事量排便等）。又利用者の方々の直接の話も聞いていただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>コロナ禍で面会は出来ないが電話にて病院より本人の今の状態の説明をもらったり、ご家族と連絡をとりながら退院に向けて話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>介護度が上がった段階でかかり付け医、本人、ご家族と相談しながら本人にとってベストな方針支援に取り組んでいる。重度化した場合の指針があり入居時に説明行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり契約時に説明し同意を貰っている。重度化の場合、主治医から家族への説明後に家族の意向を確認し、同意書ももらっている。特別養護老人ホームや医療機関も紹介している。家族の意向に沿って、医師や訪問看護師と共に支援に取り組んでおり、看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時のマニュアルもあり、応急手当やマニュアルの勉強会も行って実践力に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>中央消防署や地域の方々の協力の下、火災避難訓練・地震訓練を定期的に行っている。火災・災害時における近隣住民の連絡網もあり、協力を得られる体制も築いている。</p>	<p>年2回の避難訓練を夜間想定で実施している。1回は消防署の指導を受けていたが、コロナ禍の為、消防団及び地域住民は不参加となり自主訓練を行っている。法人内の協力体制も整っている。緊急連絡通報装置や近隣の連絡網も設置している。非常用の備蓄は、3日分の水・米・ラーメン・ふりかけ・ご飯などの食料及びカセットコンロも確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>皆さん自分に自信と誇りを持って生活されているので、声掛けにも基本的な「です、ます」を使い笑顔で挨拶から1日が始まっている。人生の先輩として尊敬をもって接している。</p>	<p>研修を開催し、名前はさんづけで呼び、トイレ・入浴介助等、できるだけ同性介助で行っている。丁寧で節度ある言葉使いを心がけている。誇りやプライバシーを損ねない対応をしており、排泄の失敗時はさり気なく声をかける等、羞恥心にも配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>年間行事計画でどこに行きたいか何をしたいか対話しながら決めている。テレビで時代劇を観たいと解ったら、出来る事はすぐに実行する。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>外に出ると顔が輝く方は散歩に出かけたり、自室で休みたいと話される方は体調管理に努めながらゆっくり休んで頂いている。、一人一人のペースを大切にした支援を心掛けている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎週日曜日は手足の爪切り、火曜日は白ワセリンで足のマッサージを行っている。訪問理容のボランティアで本人好みに髪をカットして頂いたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶の準備や配膳下膳を一緒にしたり、食事前には嚥下運動や「いただきます」を代表で言って頂き、全員で楽しく食事している。	献立は旬の食材で嗜好やきざみ食等の形態に合わせて提供している。行事食にも対応している。誕生日には1品多く作り喜ばれている。桜や紫陽花の季節は庭で花見をしながら食事している。個々に応じ皮むき・配膳・下膳を職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	黒砂糖茶、トロミ茶をこまめに摂っていただき食事が進まない日が続く人はDrに相談し指示の下エンシュアHの栄養補助食品を付けたりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの指導が有り勉強した事を活かして洗面所にて口腔ケア義歯洗浄介助の支援を行っている。また義歯の方は1日置きにポリドント洗浄も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	立位保持が不可能でも座位がたもてる方はトイレ誘導を行っている。失敗時は声掛けに十分気をつけながら下着、ズボンの着替えを支援している。	排泄チェック表を使用して、排泄のパターンを把握し、トイレへ誘導している。個々に合わせた声かけ・誘導を行ってトイレでの排泄を基本に支援している。個々の身体状況に合わせて適切な排泄用品の使用を支援しており、夜間のみオムツを使用する利用者もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操や健康体操で体を動かしたり、散歩に出かけ良く歩かれている。おやつにヨーグルトを提供したり、便秘症の方はドクターに相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴準備を一緒に行い好きな服をそろえたり、選んだりしてもらい入浴が楽しくなるよう工夫している。	入浴は週3回、午後に実施し、個浴を楽しんでおり、時間は希望等により柔軟に対応し、身体状況に応じて2人介助をしている。汚染時にはシャワー浴を実施し、清潔に気持ち良く過ごせるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	足の血流の悪い方には本人の希望で白ワセリンで足のマッサージを行ったり少しでも安心して休めるように支援行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬防止の為服薬時は声掛け確認をしている。内服の説明書はいつでも見られる所においてあり、職員は用法用量を理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>調理師の免許を持っておられる方には台所仕事を手伝い頂いたり、ホワイトボードに今日の月日や天気を書いて発表される方等それぞれの生活暦は職員が理解している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で地域の人々の協力は難しくなっているが生まれ育った地域までのドライブに出かけたりしている。</p>	<p>毎日、敷地内や近隣の散歩に出かけている。コロナ禍で外出は制限されているが、バラの花見物やイチゴ狩り・ブドウ狩り等に出かけている。現在、家族との外出・外泊は自粛している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を自分で持つ方もおられる。病院受診時売店に出かけヤクルトの買い物をして喜ばれている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族から電話が有ったりこちらから電話をして話をされている。ホームに来られた時内線で事務所と居間にて話をされたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	時計やカレンダーも目に付く所に掛けてあり、居間には散歩の途中摘んだ季節の花を飾ったりしている。エアコンを使用し過ぎしやすい室内温度設定にしている。	玄関入り口にベンチを置き、ホールは換気を十分に行い、空気清浄機やエアコンを使用して適度な室内環境に調節している。季節の作品や行事の写真を壁に飾り、時計・カレンダーを目につく場所に掛けている。和室にはテレビ・ソファがあり、ゆっくりとくつろぎ、自由に過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	話好きな利用者の方や歌好きな方、テレビ視聴される方達が居間や和室ソファ又は自室にて思い思いに過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は使い慣れた布団や枕、時計やカレンダーがおいてある。またご家族や近所のお友達の写真もありそれぞれに自分の部屋づくりをされている。	居室は和室で、ベッド・押し入れ・物入れ・エアコンが設置されている。本人が使い慣れたタンス・テレビなどの家具や寝具を持ち込んだり、時計や写真等を身近に飾る等で居心地良く過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表札や各部屋に名札（竹）があり自室の確認をされている。手すりは全てに設置されていて、車椅子用トイレ男性用トイレもある。居間や和室ソファにてテレビを観たり自分のペースで安心して過ごされるよう環境整備に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない